

## ごあいさつ

日頃より、母親委員会の活動に、ご理解とご協力いただきましてありがとうございます。  
また、単位PTAにおかれましても活発な活動をしていただき感謝申し上げます。



今年度は、「いのちの尊さ大切さ」のテーマのもと、子どもに必要なのは一番身近な親の愛情やスキンシップではないかと考え、子どもと親のかかわりの大切さを考えながら活動してまいりました。

また、お母さん同士のつながりが重要と考え、情報交換に重点を置き、子どもたちの抱えている課題について話し合っただけでなく、参加できなかった方々にも話を広げ、親子のつながりや親同士のつながりを広げるきっかけにしたいと考えています。

母親委員会は、今後も皆さんと共に学び、様々な活動に生かしていけるように努めていきたいと思っています。

山形市PTA連合会 母親委員長 高見佳澄

### 山形市立 明治小学校

7月19日、教育講演会を開催いたしました。eネットキャラバンの男澤亨先生を迎え、「インターネットの安心安全な使い方」をテーマに講話をいただきました。子どもにとっては新しいゲーム感覚で使用し、日常必須アイテムになってしまったスマホやPC。親はデメリットを把握し管理する責任について、しっかり勉強できる良い機会になりました。質問者も多く、関心の高さも伺えました。良い講演会になったと感じています。

【母親委員長 原田真希子】

### 山形市立 金井小学校

9月18日に「姿勢改善エクササイズ」という講座を行いました。講師の先生をお招きし、基本のストレッチで体をほぐしたり、音楽に合わせて動いたり、バンドを使ってエクササイズや筋トレをしたり、内容盛りだくさんで、おもいきり体を動かし、沢山汗をかきました。講座の最後の方には身体に関する質疑応答の時間も取って下さり、心身共にリフレッシュさせていただきました。

【母親委員長 阿部亜沙美】

## 各学校の活動紹介

### 山形市立 大郷小学校

6月から3月まで月一回読み聞かせを行っています。11月は学校の読書週間のため、2回行いました。ボランティアも募り、季節に合わせた絵本などを子どもたちと一緒に楽しんでいます。母親同士でおすすめの絵本について情報交換したり、子どもの反応について話が盛り上がったり、楽しいひとときとなっています。

また11月の学習発表会終了後にバザーを行いました。みなさんに提供していただいた品物の中には、手作りの物や掘り出し物もあり、行列ができるほど盛況でした。

【母親委員長 石川陽子】

### 山形市立 第六中学校

毎年3回、母親委員会だより「はぐくむ」を発行しています。リサイクル回収を1年通して行い、10月の文化祭に合わせてリサイクル品の販売を行いました。今年度も多くのリサイクル品の提供があり、また購入を希望する保護者も増え、この活動も根付いてきたと実感しました。11月に開催した「筆ペン講座」では、色彩アート書道家の未来先生を招き、字を書く事の楽しさを学びながら、リラックスした自分の為の時間を過ごす事が出来ました。



【母親委員長 黒田修子】

# 第2回定例会 ワールドカフェ



7つのテーマで各ブースに分かれて  
お茶を飲みながら話しました。

## 友人との ネットトラブル

通信機器に対する親の  
知識や監視の強化が  
必要。  
コミュニケーションが  
苦手な子どもの増加。

親子の  
信頼関係が  
改善のカギ

いくつに  
なってもなで  
なでして

## 食品について 気をつけていること

食事とは心と身体をつくる  
もの。ただ食べるのではなく  
どんな食材を選び与える  
のが大切である。

食事を変え  
たらアトピー  
が治った！

様々な相談機  
関があるので、  
一人で悩まず、  
誰かに相談して  
みよう！

## 父親に期待すること

共働き世帯の増加に伴い、  
家族の形も変化してきてい  
ます。家庭と仕事を両立し  
ていくお母さんの頑張りは  
100%以上！やはりお父さ  
ん・祖父母の協力が大事か  
もしれません。

父親の存在  
は大きいで  
すね!!

## 性教育

SNSで始まる恋愛も今では普通  
になってきているようで…。  
若さ故の本能に任せた行動で後  
悔しないように、親として子を  
影から見守っていくことは必要  
と感じました。ところで海外で  
は“成人コーナー”という括り  
が無いとのこと。認識も国によ  
って違うようです。

親子で気軽  
に話ができ  
たらいいな

家族に  
もうちょっと  
頼っちゃおう  
かな

## 年代にあわせた 愛情表現・言葉

中高生になっても愛情を伝え  
られることは、まんざらでもな  
いようです。何かができるから  
我が子がめんごいわけではない。  
どんな時も「めんごいなあ  
〜」っということを伝えていき  
たい。

## 母親の健康

お母さんは自分の体のこと  
はついつい後回しに。でも、  
お母さんが元気じゃないと  
みんなが困っちゃう。  
一人で抱え込まずに、周囲に  
頼ってみたら、意外と助けて  
もらえるものなのかも…。

## 不登校

理由や原因、症状は様々。  
学校に行くだけがゴール  
ではないかもしれない…。  
焦りは禁物、その子に  
合った解決方法はきっと  
あるはずです。

このワールドカフェの最後に、  
アンケートをとりました。  
その結果、「性教育」について  
知りたい方が多かったため、  
拡大母親委員会のテーマとして  
取り上げることになりました。



# 子どもの人生を守る 生きるためのこころの教育（性教育）を考える

《講師》 渡會 睦子（わたらい むつこ）氏



《プロフィール》宮城大学大学院 東京大学医学部研究生 首都大学東京博士後期課程卒業  
平成6年に保健師として山形県酒田保健所で精神保健福祉担当、平成8年に村山保健所において結核や感染症、HIV / AIDS等難病担当として勤務。その後、山形県保健医療大学を経て現在、東京医療保健大学医療保健学部看護学科の教授としてご活躍されている。

性 という字は・・・

りっしんべん（心） & 生きる

性教育は、  
生きるための心を学ぶ教育

## ◇ 性教育の基本は 家族 ◇

家族が話し合い、問題解決をしていく姿をみせる。

- コミュニケーション能力を高めることができる。
- 性感染症・人工中絶・DV・いのちの軽視・虐待・不登校・いじめ等の予防になる。

## ◇ 自己肯定感 ◇

心身が複雑に発達する思春期を乗り切るために、自己肯定感【自己の否定的な側面もふくめて、自分が自分であっても大丈夫という感覚】が必要。

9歳の頃は、自己肯定感と同時に、劣等感も持ちやすい時期。実社会への興味・関心をもつきっかけづくりを通して、将来を想像し自己を肯定していく関わりが必要。

## ◇ 性感染症 ◇

- ①キスでうつる病気  
梅毒・性器ヘルペス・  
伝染性単核球症←回し飲みでもうつる
- ②AIDS患者・HIV感染  
年々、増加傾向。  
早期発見・早期治療を。
- ③クラミジア  
自覚症状は軽い場合が多いが、放置すると不妊の原因に。



★女の子は、お母さんになる自分の身体を守りましょう。

★男の子は、女の子の体を大切にしなければならぬ責任を持ちましょう。



☆経済的・精神的・性的・生活上、十分自立するまで性行為をしないという選択肢が必要であることを伝えましょう。

子どもも大人も将来の自分を大切に！！  
性教育は、亡くなるまで続きます。

豊かな人間形成に向けて、心と体のバランスの良い大人に成長できるように、支援していきましょう！



【感想】 「性教育」というと、おそらくほとんどの方が、どこか恥ずかしいイメージをお持ちになるのではないのでしょうか。当日、会場にいらしたお父さんからは「自分は場違いじゃないか」「どんな顔をしてお話を聞こうか」などの声もありました。しかし、この講演を聞いて誰もが、とても大切なことに気づかせてもらえたと思います。性教育の基本は「家族」です。何気ない普段の生活を送りながら、父として母として、家族の一員として話し合い、支え合っていく姿を子どもたちに見せることが、家庭における性教育の第一歩であると感じた講演会でした。

# 『親学』家庭教育視察研修 東根市公益文化施設まなびあテラス



## ◆まなびあテラス◆

市民や地域を支える情報拠点としての図書館、市民利用のギャラリーを基本としながらも本格的な芸術文化を堪能できる美術館、団体活動やサークル活動の情報拠点となる市民活動支援センターの3つの機能を持つ全国でも珍しい複合施設です。兵庫県や福岡県などからも視察に訪れるそうです。H30年11月で2周年を迎え、来館者は59万人を超えています。館内は広々とした開放感あふれる空間で、どこでもWi-Fiが使える、飲食可能なスペースやレストランもあり、まさに『自由な空間』でした。また“デジタルサイネージ”という



手をかざすだけで調べたり、遊んだりすることができる大きなパネルが、子どもたちにはとても人気があるとのことでした。視察に行った日は、市民活動の部屋で、東根市民に限らず参加可能な石鹸作りのワークショップが行われていました。

## ◆図書館◆

図書館というと飲食厳禁といったところが多いと思いますが、ここは館内のカフェで購入した飲み物やペットボトル等を持ち込むことができます。本棚が低く設置されているため見通しがよく、外の椅子や庭などに出ることもできるので、飲み物片手に本に親しみながら1日ゆっくりと過ごしたくなる空間でした。

子どもと大人でスペースを分けているだけではなく、ティーンズコーナーもあり、年代別に本が探しやすくなっていました。貸出用のiPadが20台あるほか、学習室やパソコンが使用できる部屋も充実しており、学生の利用も多いそうです。ICタグで一度に10冊まで貸出本の情報を読み取る“自動貸出機、投函すると自動で返却本の情報を読み取る、“返却ポスト”など最新の設備がスムーズな利用に結びついているようでした。また、Webでの貸出予約や返却延長ができるだけでなく、玄関外には小さいロッカーのような形の“時間外ポスト”が10個あり、仕事などで開館時間内に来ることができない方々に喜ばれているそうです。

近代的な設備で驚きの連続でしたが、最後に館長がおっしゃられた“自由でのびのびした利用ができるように心がけている”という言葉の通り、スタッフの方々のおおらかで温かい気持ちが溢れている施設でした。



## 山形市PTA連合会 母親委員会の主な活動報告

活動テーマ 「いのちの尊さ大切さ」～かかわる喜び つながる心～

○定例母親委員会(年3回)

第1回 母親委員会(5/8) 今年度の活動計画・情報交換

第2回 母親委員会(7/3) ワールドカフェ

第3回 母親委員会(2/18) 今年度の反省・情報交換

○『親学』家庭教育視察研修(10/17) 東根市公益文化施設まなびあテラス視察

○拡大母親委員会(11/17) 講演:「いのちの大切さ学習会～性教育と子どもの恋愛～」 講師:渡會 睦子氏

○母親委員会だより 「マザーズねっとわーく」 No. 23 3月発行

一年間、母親委員会の活動にご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございました。(運営委員一同)

平成30年度 運営委員会 ●委員長: 高見 佳澄(山寺小中) ●副委員長: 渡辺 智子(第十中) 渡邊 玲子(桜田小)  
●運営委員: 菊地 良子(第二中) 酒井 淳(高楯中) 黒澤 珠妃(蔵王一中) 有路 美紀(南小) 半沢 忍(滝山小)